

2018年度 東西学研究所 第9回 研究例会

【近世近代日中文化交渉(日中移動伝播)研究班】

明治維新と19世紀後半における 日本・西洋・中国の間の多元文化交渉

2018年10月29日(月)14:40~17:30

関西大学 千里山キャンパス
児島惟謙館2階 第2会議室

聴講無料
申込不要

今年は明治維新150周年にあたる節目の年であり、平成時代の最後の年でもあります。この機会をとらえて、西洋化・文明化・近代化の序盤とも言える19世紀後半の幕末維新および日本と西洋、日本と中国の間で行われた多元文化交渉の経験や教訓を振り返り、昨今の国際化(グローバルゼーション)の趨勢と問題、およびその将来のあるべき姿を考えたい。

第I部 14:40~15:40

明治維新に対する勝者と敗者の貢献

—東西研資料集刊『開国初期の海外事情探索者たち』の編集所感から—

陶 徳民氏(関西大学教授 東西学術研究所研究員)

第II部 16:00~17:30

「文明」輸出としての「明治維新」

—近代日中文化交流史上の事例を手掛かりに—

劉 岳兵氏(南開大学教授 日本研究院院長)

※使用言語:中国語 日本語通訳による概要説明30分

【劉岳兵氏 紹介】

研究領域:日本思想史、中日思想文化交流史。

主な著書に(原文は中国語):《日本近代儒学研究》(2003)、《中日近現代思想と儒学》(2007)、《日本近現代思想史》(2010)、《“中国式”日本研究の実像の虚像》(2015)

編著に《明治儒学と近代日本》(2005)、《日本の宗教と歴史思想—神道を中心に》(2015)、《日本儒学と思想史研究—王家驊先生紀念專輯》(2016)。

司会

井上 克人

(近世近代日中文化交渉(日中移動伝播)研究班 主幹)

通訳

李 瑞華

(関西大学 大学院)

お問い合わせ先

関西大学
研究所事務グループ

〒564-8680吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-0653 FAX:06-6339-7721
E-mail : touzaiken@ml.kandai.jp

